



浅野みえ子

無所属

所沢市議：市政レポート NO.33 2013年 4月 吉日



薫る新緑の中、皆様のますますの
ご健勝をお祈りいたします



平成25年度予算を審議した3月定例会の報告をします。歳入は市税収入が24年度と比較して「約1億1,600万円減収」で国からの地方交付税が「5,500万円増加」予定です。一方、歳出は必要な民生費（福祉、子育て、生活保護費等）が、前年度と比較して「17億3,600万円増加」していて、新しい事業をするのが難しい時代でもあります。市の広報誌や議会だよりで予算内容が紹介されますが、私からは生活に繋がる安心・安全の地域作りの為の予算をいくつか紹介します。

国民健康保険特定健康診査の充実

受診者1割負担（800円）での胸部レントゲン検査を追加されました
市民の方々の声が届きました

東幹線道路舗装整備～陸橋通り～
23年度、24年度と舗装改修して来て、今年度はコーラス前です。これで完了です。一緒に凸凹の歩道部分の整備工事も要望しています・・・

北秋津・上安松地区まちづくり事業 25年度：344万7,000円

所沢駅近接地区に相応しい街づくりを目指し、立地環境や地権者の意向を踏まえながら、土地区画整理事業を基本に道路、公園、下水道等の都市基盤を総合的に整備し防災性や住環境の向上を図り、安心・安全に生活できる街づくりを行う。地権者の方々が準備組合を設立し事業に取り組むので、市は事業推進の為に支援を行う。

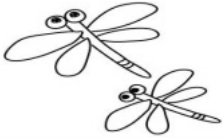
26年度は：6,744万円の予定

歩行者の安全対策実現に向けて ～南陵中学校下、柳瀬川沿道の道 を拡幅する為の、測量費が予算化～

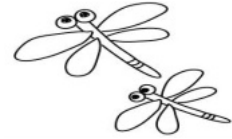
飯能所沢線2工区（スーパーあまいけまで）が、平成27年3月に開通予定。吾妻地区への車の進入が増加する不安から、吾妻地区町内会連絡協議会、PTAが「川越県土事務所」と「市道路所管課」に、安全対策を要望し協議した結果、柳瀬川沿道を河川側に拡幅する事になりました。今年は、測量で次に工事をする予定です

議員定数が削減されました

「36人」が「33人」になりました
私が、議会運営委員会の委員長の時に「議員定数のあり方審議会」を設置し、専門的識者や市民の方5人で審議し、「常任委員会委員は、9人が相応しい・議長は入らない」と答申が出ました。それを元に議運で協議し「当面は、経済状況から8人とする・4常任委員会なので33人」とする。となり今議会で、賛成29人对反対6人で採択されました。次期（27年）市議会議員選挙から。



私の一般質問



歳出削減の質問をしました

～「北野一般廃棄物処分場」の借地を早急買い取るべきだ～

浅野質問

この処分場は地権者に返せない永久的な公共施設だ。にも関わらず借地料を25年間支払い続けている事は効率性がない。買い取り時には路線価格で地権者から購入するとの事。これでは地権者にとっての、現金収入の「既得権」を市が増長していると市民は思う。原資は市民の税金であることを理解してもらい早急買い取るべきだと思う。既に、協力して売却している地権者の方も多いのですから、その方々から見ても不公平だ。

環境クリーン部長答弁

昭和57年当時、市内の最終処分場用地の確保が困難になり、現在の北野が候補地に浮上し、地権者や自治会にお願いした。市側から、用地買い取り方式と借地方式を提案して協力をしていただいた。既に79%の地権者から買い取っている。借地は全体の21%だ。借地料は年間、1,268万4,600円。昨年、秋から市は「専門のチーム」を立ち上げて地権者と購入に向けての交渉を開始した。今後も、粘り強く継続し早期の用地取得に努める。

私の主張

地権者の方々には感謝しますが25年間ですから、2億5,000万円は支払った事でしょう。その上で、購入時に買い取り料を支払う事を市民は納得できるでしょうか？この場所は、もう返す事が出来る土地ではありません。歴代の市長の姿勢も問われます。調査すると現在の地権者は、4人です。職員の専門チーム職員の交渉を強く願います。

平成25年度には、この場所に「大規模太陽光発電施設による再生可能エネルギー」のメガソーラ設置が決まりました。(平成19年度にはこの処分場は満杯になり閉鎖されています)

～他の公共施設の借地状況も質問しました～

市の駐輪場9か所、障害者施設や老人施設の用地や道路等々で総数87か所だそうです。又、教育委員会所管では、公民館用地や駐車場で7館・小学校2校、運動場用地や駐車場等々2件だそうです。公共施設として使用して返せない施設ですから、これも買い取りが求められます。財政部長は「費用対効果の面で買い取りの方が有効ですので、地権者の意向も入れて買い取りを進めて行く」と、答弁しました。

小学校は北中小(借地料年間41万2,800円・創立29年間)と松井小の一部敷地(借地料年間390万円:敷地を広げた平成14年から10年間経つ)です。地権者の協力をお願いしたいし、市の買い取り方針を支援します。



～ 行政回覧の枚数を減らす努力を求めました～

浅野質問

行政回覧が多すぎるので広報と重なる物は省く等、精査して欲しいと町内会役員等の声を多く聞く、市に声は届いているのか？又、まちづくりセンターや学校からの回覧物の枚数も市民部長は把握しているのか？又、各部署の内容を分かり易く1枚にまとめる回覧を作成する等の工夫は出来ないのか？

市民部長答弁

行政回覧は、19年度は286件で、24年度2月で417件と増えている。行政回覧以外のお知らせは把握できていない。コミュニティ推進課では各部署から受付ける時に、回覧文書の内容を精査するのではなく、発送番号を取るだけだ。町内会・自治会からも精査するよふにとの声がある。市長からも、回覧文書の縮減を指示されている。今後は、行政区別の回覧はまちづくりセンターだよりに集約する等し、又不必要な物は安易に回覧しないよにする。

～ 藤本市長の公約は「3学期制への移行」です・なぜ民意を受け止めないのか？と、教育長に求めました:埼玉県内で2学期制を実施している中学校は、12.4%です～

浅野質問

現在の教育委員会の5人の委員は、1人が3学期制を支持していて、3人が「2学期制・3学期制のどちらでも良い」と委員会で発言している。しかし教育長は、「教育委員全員が2学期制を支持していると、記者会見で述べたのでその通りの記事になった。教育長一人が2学期制を支持しているが、残りの4人の委員の発言を無視する発表はまやかしてではないか？」また「市長公約の3学期制移行に関して保護者からアンケートを取る等の努力もしないし、22年12月議会では「所沢市立小・中学校の2学期制について、公正で客観的な検証を求める請願」を全会一致で採択している。教育長は市長公約の民意や議会に、もっと真摯に向き合うべきだと思ふが。

教育長答弁

会議の内容は、5人の教育委員が話し合った結果で「自分の都合の良いよに報告したことはない」議員の意見も市長の意見も重く受け止めており誠実に答えているつもりだ。2学期制は校長会の意思でもあり、学び改善プロジェクト委員会でも支持された。

浅野質問

毎年の校長の人事や、退職校長OBの方が市で働く人事権も教育長が持っていらっしゃるので、校長会で一人だけ「3学期制にしたい」と言える校長先生がいるとは思えない。又、学び改善プロジェクト委員会の委員選定には条例も無く、教育長が任命する事になっているので、他市のような「学期制検討委員会」ではない。よって学期制のあり方について教育長が公平な検討をしているとは思えない。市長公約を無視することは、民意を無視する事ではないか？とも質問しました。



駅から来ると北秋津保育園脇に、住宅が7軒建設。開発業者の「大和ハウス」が5mの道路用地を市に寄付して下さいました。見通しが悪かったので良くなり、みな様が感謝しています



北秋津小学校を下がっていつて突き当たる「とんぼ橋」への交差点へ「歩行者信号」設置要望を、北秋津町内会が警察署に提出しました

みえ子のおしゃべり

私は3学期制移行を望んでいます。2学期制は1学期終了式が10月上旬です。3学期制は、長い夏休みを迎える前に1学期終了式を行い通知表を貰うので、子ども心にけじめが出来て子どもの成長に合っていると思います。南陵中学校は定期テストが7月にあるのに通知表は10月です。他の中学校では9月に定期テストです。それでは、夏休み中もテストが気になる子どもも多い事でしょう。あるいは気にしないでテスト勉強しなかった子どもは、夏休み明けのテスト結果も悪く、やる気も薄くなるのではないかと心配してしまいます。「塾があるから大丈夫」と言う方も多いですが、それでは公立学校の役割はどうなるのか？塾に行けない子どもはどうなるのか？と悩みます。

藤本市長の公約に「3学期制実施」があります。「選挙で選ばれた市長公約は、民意だから教育長は尊重すべきだ」と、私は一般質問で発言しました。現に、「3学期制移行を、望んでいる市民の方々は多いです」平成25年度から高崎市の全小・中学校は2学期制から3学期制に移行しました。市民のみな様の誰一人からも抗議の声はなく、「良かった」の声ばかりだそうです。しかし、協議員（会派：共生）が私の一般質問の終了後に「市長公約は民意ではない」と、私の発言に問題があるように動議をかけました。私と考えが違えば、ご自分の一般質問で言えば良いと思うのですが、学期制の質問を協議員は一度もしていません。その後、議会運営委員会でこの部分について話し合いましたが勿論、「浅野議員の一般質問は特に問題はない」となりました。

実は、今議会で「教育委員会委員」を一人増やす条例が採択されました（5人から6人に）私は賛成しました。教育委員会は、教育はもちろんの事、34万人所沢市民の為の文化、芸術、スポーツ、社会教育等々に対して審議するのですから、多くの意見を取り入れる事が相応しいと考えます。これに対し、共産党、民主ネットリベラル、会派共生の10名の議員が反対しました。理由は、「藤本市長が教育委員に電話をして学期制の事で委員会会議の内容を聞いたり意見交換をした事は、教育への政治の介入だ。その市長が唐突に教育委員を増やす事には賛成出来ない」としています。

政治の介入とは何なのでしょう？多くの議員は、議会と役割の違う市長や市執行部の方の所に行き、議案の事や市民要望、自分の選挙時の公約について、意見交換をしたり話をしていきます。教育長へ話に行く議員もいます。議員は行っているのに「市長が教育委員と話す事は良くない」と言うのは何故でしょう？私は、教育委員会は閉鎖的ではなくもっとザックバランにいろいろな場で、市長、執行部、教育長、教育委員、議員、市民のみな様と、学期制について話し合い意見交換する等行った方が良いと思います。主役は子どもです。子ども達の為に。ちなみに、埼玉県内63市町村中、全校が2学期制なのは、所沢市、熊谷市、幸手市、越生町、鶴ヶ島町のみです。2学期制実施の学校数は、小・中学校合わせて、13.1%と少ないです。



所沢駅東口ロータリー喫煙所が移動しました。（バス停の前は、相応しくないとの声が多く）

市議：浅野みえ子発行レポート

浅野みえ子事務所：「くすのき台ココス2軒先」

自宅は北秋津876-3所沢コーポラスH204

TEL (2995) 1463

FAX (2991) 3538

メール asanomieko@nifty.com

HP有り：日々の活動をブログで記録しています

浅野みえ子と検索して下さい。すぐ出ます